

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第 62 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	令和 5 年 3 月 23 日 (木) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分	場 所	木津川市役所 全員協議会室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】</p> <p>■大庭 哲治委員 (副会長) ■井上 学委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■占部 禎佑委員 ■藤田 弘志委員</p> <p>□桑原 久和委員 □津田 浩司委員</p> <p>■上月 俊行委員 ■木村 剛委員</p> <p>□平田 克子委員 ■辰巳 潤委員</p> <p>□兔本 久和委員</p> <p>【事業者】</p> <p>□野口 明委員</p> <p>■大野 豊委員 ※代理：鷺谷 毅 (近畿日本鉄道株式会社新田辺駅副駅長)</p> <p>■大西 秀樹委員 ※代理：松石 康志 (奈良交通株式会社乗合事業部統括課長)</p> <p>■津田 秀夫委員</p> <p>□足立 高広委員 ■大江 正泰委員</p> <p>□梅田 幹夫委員 □加藤 隆委員</p> <p>□今西 宏委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■稲留 健一郎委員</p> <p>□大前 利夫委員</p> <p>■松永 弘道委員 □安見 浩一委員</p> <p>■松田 直樹委員</p> <p>■河井 規子会長 □田中 達男委員</p> <p>■久保田 明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>□酒井 大斗委員</p>	
事務局	船岡政策監、井上事務局長、山口事務局次長、松下主幹、楠見主任		
傍聴者	0 人		
議 題	<p>1. 開会 河井会長より開会のあいさつがあった。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)報告事項 ①親子で参加しよう！きづがわ公共交通 Day の実施結果について【資料 1】</p> <p>(2)協議事項 ①令和 5 年度予算 (案) について【資料 2】 ②第 2 次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について【資料 3】 ③木津川市地域公共交通計画の策定について【資料 4】</p>		

	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次回協議会の日程について ②その他 <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として上月委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①親子で参加しよう！きづがわ公共交通 Day の実施結果について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。 <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度予算（案）について 資料2に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。 ②第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について 資料3に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。 ③木津川市地域公共交通計画の策定について 資料4に基づき、事務局から提案があり、承認した。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①CI-CA plus について CI-CA plus のコミュニティバスへの適用について、事務局より報告があった。 ③次回協議会の日程について 後日通知することとした。 <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨 ◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①親子で参加しよう！きづがわ公共交通 Day の実施結果について 【配布資料】資料1-1、資料1-2、資料1-3 【主な意見・質疑等】 ○親子バス乗車体験に参加された親御さんの年齢層はどのようなものだったか。 →年齢についても受付時に伺っている。事務局が想定したよりも両親で参加される方が多かった。一番多かったのが30代、次点で40代となっている。

○祖父母世代で参加された方はいたか。
→そういった世代の方はいなかった。参加された10組の内訳は、30代が7組、40代が2組、50代が1組となっている。プレイフルパーク自体が、小さい子どもの遊び場の創出を目的に実施されているので、両親で参加されている方しかおらず、このような結果となっている。

◎乗車機会の創出としては意義がある事業だと思う。事業効果やアンケートに記載されているのは、親御さんの感想と思われるが、お子さんがどのような意見や感想をもったのか把握していれば教えてほしい。

→乗車したお子さんは、バスが元々好きで何回もバスに乗っている方や今回初めてバスに乗る方など様々だったが、バスに乗車して、いつもと違う風景や違うルートを楽しまれているようだった。また、運転手やバス車両に新鮮さを感じる方が多く、乗車体験終了後に、運転手やバス車両と記念撮影される家族が多かった。このような機会にフォーカスした利用促進策も今後検討していく必要があるのではないかと感じた。

◎公共交通に愛着をもってもらう事は非常に大切な事である。そういった感想も資料にいとよい。今後も事業として継続してほしい。

(2)協議事項

①令和5年度予算(案)について

【配布資料】資料2-1、資料2-2

【主な意見・質疑等】

○今年度実施した、市内バス無料Dayは来年度実施しないのか。バスの利用機会の創出として、バス無料Dayは効果的な施策であると考えている。予算の問題はあるが、継続して実施していく方がよいのではないか。

→今年度実施した市内バス無料Dayは、コミュニティバスと路線バスを3日間無料にするという施策であり、その費用については国の臨時交付金を活用し、市負担額無しで実施したものである。事業費用としては、約550万円かかっており、今後国補助が見込めない中で毎年同じ事業を継続していく事は、予算上困難と考えている。路線バスを無料にすると、バス会社に運賃収入補填をするために市持ち出しがどうしても発生してしまう。例えば、コミュニティバスだけ無料にするなどの違った方法で検討していきたいと考えていることから、令和5年度予算案には計上していない。令和5年度には地域公共交通計画を策定するため、その計画内に記載していくなどは検討していきたい。

◎前回作成した、交通網形成計画策定費用と今回の策定費用は同規模か。

→交通網形成計画策定費から見ると、費用は増加している。網形成計画と比べるとより多くの人員を割く必要があるとのこと、その分の人件費分が多くかかると聞いている。

◎より効率的効果的なものになるようにお願いします。

②第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について

【配布資料】資料3

【主な意見・質疑等】

○R4. 7. 16に参加いただいた南加茂台地域で開催された「第1回公共交通検討委員会」は、現在第6回まで開催され、地域住民にアンケートを実施し、住民ニーズを集約した新規路線案が、近々協議会に提出される予定なので、その際はよろしく願います。観光と公共交通を結びつけることはよい施策である。そこにスタンプラリーなどの遊び心を足すことでより効果がでると思う。木津川市は文化財の宝庫なので、ぜひ活用して欲しい。

→公共交通については、市民利用も大事だが観光利用も取り込んで、公共交通を維持していくことが必要と考えている。令和5年度は、奈良国立博物館と東京国立博物館での展示や、浄瑠璃寺の阿弥陀仏が揃う年でもあり、観光が盛り上がるはずなので、それを盛り込んだ事業となるようにしていきたい。

○マスコミも上手く活用してほしい。TV放送があれば、もっと興味を持ってもらえる。
→観光部門が、TV局とのタイアップを予定しているとは伺っている。

○バス停付近におられる、バス利用者へ意見を聞いてきた。夫婦でアルプラザにきのつバスで買い物にいられている方が、2人で往復800円かかることが負担であるとの意見だったので、高齢者への運賃減免措置を検討していただきたい。そういった意見があった報告だけさせていただく。

→コミュニティバスの運行における、運賃は議論になるところである。1人あたりの運行費用が500円以上かかっており、運行にかかる市負担額としても近隣市町よりも高い年間6000万円となっている。そういった財政状況を踏まえての検討となってくる。既存の交通機関の保持は勿論の事、新しいサービスの検討などについても、次年度策定の交通計画の中で検討していきたい。

◎高齢者への施策という点もあるが、商業施設との連携という観点もある。そういった事も検討していければと思う。

◎観光マップは、観光視点での施策になるため観光協会との連携も密接にしていきたい。

③木津川市地域公共交通の策定について

【配布資料】資料4-1、資料4-2

【主な意見・質疑等】

○木津川市には、木津・加茂・山城の3地域があるが、それらの地域をどうしていくのかという計画になるのか。地域の委員として、どのような視点で携わっていけばよいのかを教えてほしい。南加茂台地域で検討している新規路線案については、どのタイミングで提出すればスムーズに進むのか。

→公共交通計画は、市全体の公共交通の全体のマスタープランになる。新規路線導入方法についても、現在の網形成計画に記載があるため、公共交通計画策定時にも協議はさせていただく予定である。後々提出される、新規路線導入案については、別の話となる。地域公共交通計画には、地域ごとの目標なども定める事になると思われるので、地域の実情や課題などの把握いただき、協議いただきたいと考えている。また、計画策定時には市民アンケートを実施するので、どういった方法で行えば公共交通を利用する・しないに関わらず意見が集められるのか、どういった項目を設定すれば、より効果的なものとなるのかなどの意見もいただきたいと考えている。

◎地域公共交通計画は、事務局が作成した計画案について、それぞれの立場から意見を言っただき策定していくイメージとなる。地域公共交通計画は交通の骨格となる計画であり、木津川市現状、地域の声などを反映して策定していく必要がある。
○アンケートを実施して、そこで出た意見については、前向きに取り組んでいただきたい。

◎地域公共交通計画策定については、現交通網形成計画がどのように機能したのかの検証をすることになっている。網形成計画でいただいたアンケートについても検証を行い、どれほど対応できているのかの振り返り、地域公共交通計画に活かしていく事になる。

○地域公共交通計画策定については、国としても前の計画で定めたことがどのように進んでいるのかの検証をしてから策定するようにお願いしている。また、地域で検討されている新しい交通サービスについてだが、地域公共交通計画は毎年検証することになっているため、新しいサービス導入により計画がそぐわなくなれば、その都度計画変更ができる。次年度策定する地域公共交通計画は現時点の状況で策定してもらえばよい。

○近隣市町村で実施している、公共交通施策について、市町村間で情報共有ができる交流の場はあるのか。そういう場があれば、近隣市町村間で実施している事業で、木津川市で実施していなければ導入すればよいし、木津川市単独で実施できず近隣市町村と連携する必要がある事業を検討する際も、スムーズに進めることができるのではないか。

→今まではそのような場はなかったが、市町村からの公共交通に関する情報交換の場も設けてほしいとの声があり、振興局が初めて企画された山城地域での意見交換会に参加した。その場で、各市町村の公共交通の状況、財政状況、利用促進策の実施状況などの共有ができた。他市町村では、高齢者に対しての「バス乗り方教室」を実施されているなど、興味深い施策もあったため、今後活かしていきたいと考えている。

○市町村間での意見交換の場は、振興局としても継続していきたいと考えている。

○地域公共交通計画は、5年間木津川市の公共交通をどうしていくのかの全体像を定める事になる。バスだけでなく鉄道、タクシーなどを持続的に維持していくには、どのようにしていくのかを考える必要がある。地域公共交通計画の特徴は、地域の要望を記載するのではなく、自分達で何ができるかを記載するため、以前の網形成計画よりも各機関の責任が明確となっている点である。行政機関、交通事業者、市民それぞれが、定めた目標に向けて汗をかいていくというイメージになる。

◎各項目における目標設定が明確となるので、まさにその通りである。今後の木津川市の公共交通をどのようにして、よりよくしていくかを考えて計画策定をしていく必要がある。

(3) その他

①CI-CA plus のコミュニティバスへの適用について（事務局）

○前回承認いただいた、CI-CA plus について、市コミュニティバスの「きのつバス」「当尾線」で適用されることになったので、報告する。

	<p>②次回協議会について 6月中を目途に事務局で調整し、改めて通知させていただく。</p> <p>3. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
その他 特記事項	なし